

■ 会長挨拶

橋本設夫



日頃は会員各位には法政大学体育会ゴルフ部そして法友会への多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。まずは、今年の新一年生のご入学とゴルフ部入部を心より歓迎し、お祝いを申し上げたいと思います。OB会も新一年生の今後の活躍を多いに期待している事でしょう。

我が法政大学ゴルフ部も昭和7年の創部以来戦前戦後を通算すると80周年という長い歴史を歩んでまいりました。ゴルフ部の中でも創部の古い順から数えますと慶応大学、明治大学について3番目に古い歴史を誇り伝統ある一校として学生ゴルフ連盟の中心校としてその一翼

を担ってまいりました。又その歴史の中で幾多の名選手を輩出している事は皆様もご承知の通りだと思います。個人戦では男女共に関東学生選手権、中日杯争奪選手権を制し、又男女が日本アマチュア選手権の栄冠をとる等輝かしい戦歴を残しました。又近年には女子選手諸君が日本学生選手権で個人優勝をし、又団体戦にも全国女子対抗戦、そして朝日杯争奪選手権に優勝する等素晴らしい活躍をしました。

ゴルフ部は昭和40年関東大学対抗戦Aブロックで3位に入り大学より待望の体育会に正部として認められ、常時Aブロックにて活躍し始めました。これらのゴルフ部の歴史の中でここまで活躍できたのも幾多の方々のお世話になった事を忘れてはなりません。特に前会長の田中氏の多摩川練習場での合同練習、長距離走、トレーニングと皆で良く練習をし本当にゴルフ部全員が大変お世話になりました。又前副会長の鈴木氏の経営する磯子C.Cでは連日のように無料でコースを庭のように使用させて頂き、ご馳走になるなど一言では言い切れぬほどお世話になりました。特に鈴木三兄弟の長兄の社長であった鈴木健一郎氏には川奈G.C、日光C.Cその他のゴルフ場をプレーさせて頂き、OB一同が公私ともにお世話になりました事、決して忘れる事はできません。又、初代監督の市川敏男氏は応援団出身者ということもあり、非常に厳しい人であった。学生らしく礼儀作法、規律を一から教えられた事を思い起こします。

鈴木健一郎氏も市川敏男氏も数年前に他界されましたが、今まで支えて下った諸先輩のご恩をゴルフ部部員、OB会員が忘れてはならないと思います。このお二人を偲び更なるゴルフ部の発展に会員各位の更なるご支援とご協力を切にお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

■ 監督挨拶

田中徳市



皆さんこんにちは、監督2年目の方針はまず1つ目は「体育会ゴルフ部としての再認識」です。運動部として厳しく、活力を取り戻す事です。2つ目は、部員一同の「チームワーク」の結束です。明るく楽しく元気よく、ゴルフの精神を学んでいただきたいと思います。昨年は長いゴルフ部の歴史の中で、3月11日の東日本大震災から始まって、全国大学選手権優勝と、日本学生選手権、朝日杯学生選手権優勝と激動の一年でした。又本年度は7月にチェコスロバキアで開催されます第14回世界大学ゴルフ選手権に3年生の矢代直仁の出場が決定しております。これもゴルフ部の歴史の中で大変素晴らしい事

であります。いよいよ5月、男子春季Bブロック対抗戦から24年度の競技会がスタートします。ゴルフ規則第一章にあります、他人に対する心配りをし、礼儀正しく、スポーツマンシップを常に示しながら、洗練されたマナーで立ち振る舞ってほしいと思います。本年度もぜひとも明るいニュースをお届け出来る様部員一同頑張ってお活動してまいります。

■ 女子コーチ挨拶

佃 真実



昨年度より、女子担当コーチを務めさせて頂いております佃真実でございます。

昨年女子部員は、東日本大震災の影響で活動に制限があり、調整が難しい中、6月の「第34回全国女子大学ゴルフ対抗戦」にて、創部以来初の全国制覇という快挙を成し遂げてくれ、就任早々大変な栄誉と喜びを与えてくれました。任命して頂きました法友会の皆様、そして現役部員の皆、本当に有難うございました。

今年は、注目される立場となります。見られる立場を意識し、プレッシャーを感じてプレーする事は大変な事ではありますが、今後の人生においてきっと大きな経験となる事と思います。ゴルフができる「喜び」と「感謝の気持ち」を込めて、スコアにこだ

わり優勝を目指す。ゴルフを通じて人間形成を培う事に、微力ではありますが力添えをして参りたいと思っております。

最後に、現役部員の活動を支える為、この場をお借りして、法友会の皆様のご指導ご鞭撻、並びに更なる温かいお心遣いをお願いして挨拶とさせていただきます。

■ 会員近況報告

■ 法友会副幹事長 殿村洋司



この原稿のご依頼をお受けした時に、自分の近況報告で良いとの事でしたので、私のゴルフライフについて触れさせて戴きます。

大学を卒業して早くも27年が過ぎ、今年で51歳になります。卒業後数年は、ゴルフは年に数回行く程度で、ゴルフから遠ざかっていましたが、40歳の時に転機が訪れました。父もメンバーだった、神奈川県程ヶ谷カントリー倶楽部のメンバーになることが出来ました。自宅から近いと言う事もあ

り、その頃から土曜、日曜日は必ずと言って良いほど通っています。勿論コンペなどで他のゴルフ場にも行きますが、最近は年間70回から80回はプレーしています。HCは「9」と低迷しており、学生時代にゴルフ部だったとは恥ずかしくて言えません。技術も体力も下降線を辿るばかりですが、週1回の練習や、自宅でのストレッチ等と身体の手入れを続けて、何十年後になるか分かりませんが、何時かはエージシュートを達成出来ればと思っております。